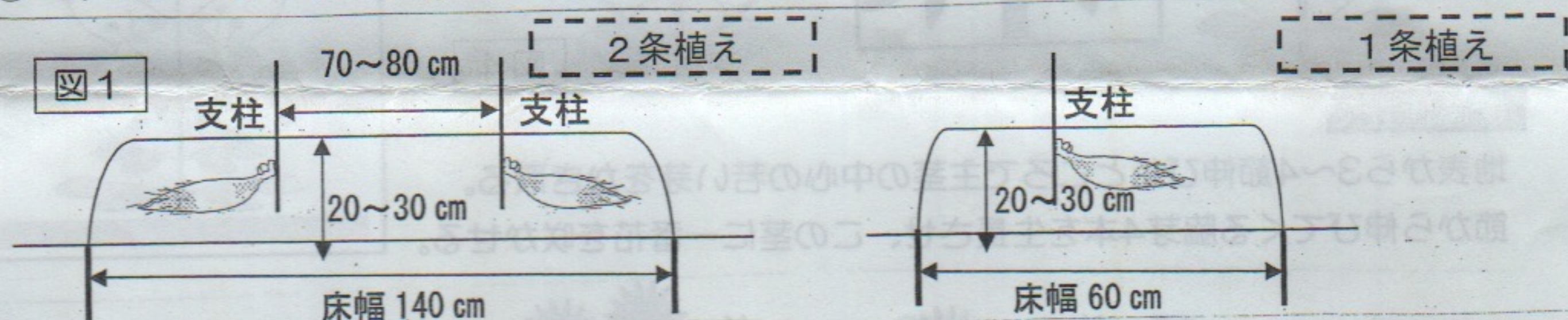


ダリア栽培のしおり

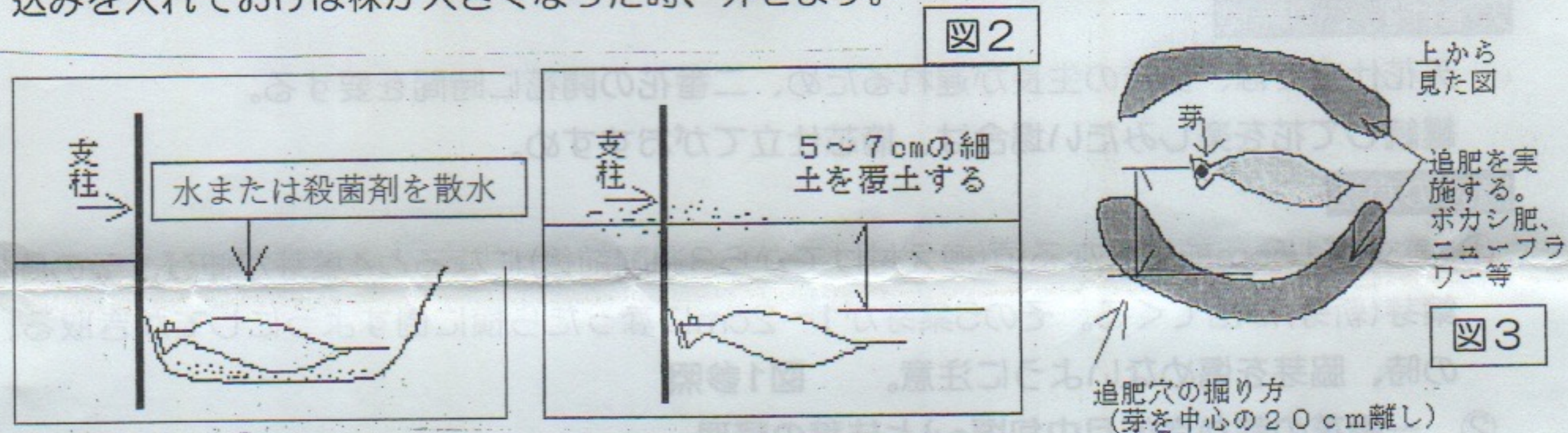
両神山麓花の郷 ダリア園

1 球根の植え付け

- ① 球根はカビや腐れ、しわのないものを選び。芽の長さは2~3cm以内のものを選び。球根を掘り上げた時や保管して芽が長くなってしまったものは、付け根から2節残して切り植え付ける。
- ② 植え付けの1~2週間前に、牛堆肥・苦土石灰を散布。(1㎡当たり堆肥バケツ2杯、苦土石灰150g程)
- ③ 元肥散布(長期に効く有機質系化成肥料を使用。(1㎡当たり150g程)。
- ④ 深く細かく耕し、高い畝(20~30cmを作る。)



- ⑤ 植穴(深さ10cm、球根より大きめ)を掘り、球根の芽を上にして表面より5~7cmの深さに植え付け、芽のすぐそばに60cm~80cmの支柱(イボ竹等)をさしておく。小輪、中輪の場合は、70~90cm、大輪~巨大輪は100~120cmの株間が必要。
- ⑥ 球根を固定しながら覆土し、支柱の周りに浸透性殺虫剤(オルトラン等)を4g程度播く。
- ⑦ 地表に芽が出たらネキリエースを散布する。ネキリ虫が出てきて芽を食べるので、500gのペットボトルを輪切りにして、かぶせて置くのも防除方法としては良いです。縦に切り込みを入れておけば株が大きくなった時、外せます。



イボ竹は深めにさし、球根の方向を一定にすると、追肥や球根掘上げの時に役立つ、また、名札に花の名前や大きさを記入したラベルを付けて置く。

2 散水・追肥

- ◎散水は、8月に入り日照りが続いた時に株元に行く。
 - ◎追肥は、7月上旬~中旬の梅雨時と9月上旬の球根形成時の2回行う。球根を傷めないように株元から20cm程離れた場所を掘り、2回目は、株元から30cm程離れた場所に追肥する。
- 根が横に広がっているので、株の葉の先端を浅く掘って追肥する。

3 摘芯と芽かき、枝葉の整理

ダリアは生長し花をつける時、自然のままに置くと花を